

TSY MANINONA

JOURNAL SUR MADAGASCAR

木川 莉江 KIGAWA RIE

JICA青年海外協力隊として
マダガスカルのアンプイマナンブラで活動中
大塚製薬株式会社より現職参加
(2021-3次隊/コミュニティ開発)

生活改善チームの訓練

先月始まった生活改善チームですが、2月中はメンバーの訓練をしていました。改良かまど・泥炭の作り方を勉強したり、問題解決ワークを実施したり、家計管理・栄養についてみんなで案を出し合ったり。最後の勉強会では、それぞれの思う生活改善について自然とディスカッションが始まりました。「不満を言ったり誰かが何かしてくれるのを待つだけでなく自分ができることを少しずつ実施するのが生活改善」「今持っているものを立ち返って見てみるのが生活改善」「一人でできないこともみんなで協力して解決することが生活改善」など一人ひとりに違った意見がありました。勉強会を通し、一人ひとりが生活改善とは何かを真剣に考えて下さり、思いを持ってくれたことに嬉しく思いました。

とても心強いメンバーができたので、メンバーの力を借りて、活動を更に頑張りたいと思います。



生活改善・栄養改善のお悩み相談会

協力隊の元技術顧問の、経済開発部国際協力専門員がマダガスカルにお越しいただき、生活改善・栄養改善に関する隊員の活動状況共有・お悩み相談会を3月6日に開催していただきました。

日々活動しているなかで、活動は今のままで進めて良いのか？そもそも生活改善とは？押し付けになっているのでは？など、答えのない悩みや葛藤があり、ぜひアドバイスを頂きたく参加しました。

専門員の方のお話やみんなの活動状況などを聞き、活動を難しく考えすぎているように感じました。住民のなりたいたい姿を聞き、そのなかで抱えている日常の問題を聞き取り、その解決策のひとつの手段として生活改善があること。

この機会に、これまでの自分の活動を振り返り、今後の活動をどうすべきかしっかりと考えることができました。来月でマダガスカルに到着して一年になります。初心を忘れず、気持ちを新たにまた頑張ります。



チームで実施した問題解決ワーク。
沢山の問題と解決策が出てきました。



LA SAISON DES PLUIES À MADAGASCAR

マダガスカルの雨季

雨季が続いているマダガスカル。日本では経験したことのないような大雨が降ります。サイクロンも去ったと思えばまた新たなサイクロンが到着したりと天気がすぐれない日々です。任地の地面は赤土がほとんどなので、帰宅時には靴も服も鞆も土でドロドロなことも多々。遠方への地域訪問や研修会の開催も今は少し難しいですが、時間がある分、雨季明けに控える活動の準備を進めています！



“

Mankasitraka

ありがとうと同じ意味ですが、
更に感謝を伝えたい時に使う動詞です
通信を読んでくださり
Mankasitraka Tompoko!



豚肉をキャッサハの葉で巻いた伝統料理
ラビトウトウ Rvitoto